立憲民主党　御中

# 「立憲民主党に対する提言書」

２０１２年から日本の政治・社会を支配してきた安倍政権及び安倍亜流政権は、森友学園、加計学園問題に始まって、桜を見る会問題を経て、統一教会との癒着問題、自民党各派閥による裏金作りを露呈し、自公政権が国民のための政治ではなく、自分たちの利権のための政治を行なってきたことを暴露しました。

これに対する国民の怒りは激しいものがあり、その結果、自民党に対する支持率、自公政権に対する支持率は、過去最低の水準に落ち込んでいます。

それに対応して、国民の政権交代を求める声は日増しに強くなっています。

その中で自民党は、岸田総理が辞意を表明し、次の総理の顔を変えて総選挙を乗り切る算段をしています。

しかし、自民党の長年にわたる腐敗、堕落した悪政によって、過去最低の状態におとしめられた国民の生活を救うためには、もはや立憲民主党を中心とする野党の協働による政権交代しかありません。

そして今、自公に代わる政権交代を求める大多数の国民の力を背景にするならば、次の総選挙において政権交代を成し遂げることは決して無理なことではありません。

私たちは、このような世論の強い要求に押されて、この度、政権交代を実現するために、野党第一党である「立憲民主党にもの申す市民集会」を８月３０日に催しました。

当日は、東京周辺の１２の市民団体及び有志の人々が集い、政権交代に向けて立憲民主党に対する思いのたけを述べ合いました。

中には、立憲民主党に対する厳しい批判の意見もありましたが、それを含めてすべての参加者の声は、野党第一党の立憲民主党が広く国民の声に耳を傾けた上で、矜持と誇りを持って第一党として他の野党を糾合し、政権交代を成し遂げて欲しい、という熱望の表れでした。

当日の市民の意見は、別紙で添付してありますが、私たちとしては、立憲民主党が、政権交代の千載一遇のチャンスを生かし、政権交代を成し遂げて頂くことを強く希望、期待すると同時に、私たち市民もまた、貴党の政治家と一体となって支援活動に全力を尽くしたいと考えております。

どうか私たちを初め、圧倒的多数の国民の生命、生活を守るために、政権交代を成し遂げ、政権を担えるよう飛躍されることをお祈りします。

併せて、貴党の益々のご発展をお祈りします。

２０２４年９月

〒171-0021 東京都豊島区西池袋１－２９－５
山の手ビル 11 階　伊東章法律事務所内
電話 03-5391-6715　FAX03-5391-6440
「政権交代のために立憲民主党にもの申す市民集会」実行委員会
代表　伊　東　　章
実　行　委　員　一　同